

樹木オリエンテーリング チェックカード

チーム名	点数
出発時刻 時 分 秒	かかった時間
到着時刻 時 分 秒	時間 分 秒

番号	樹木名	耳より情報
1		日本の針葉樹（針のようにとがった葉をもつ木）の中で、この木だけが冬になると葉を落とす。
2		黒く熟した実は、甘くておいしい。若い実やつぼみを塩漬けにして食べることもある。
3		お菓子やガムなどに多く配合されているキシリトールの原料であるキシランがふくまれています。
4		あまりに花の赤色が濃いため、「火事花」とも呼ばれ、家に持ち帰ることを嫌う風習が各地にある。
5		葉をフライパンの代わりに使って焼く「ホオ葉みそ」は有名。
6		春は葉といっしょに黄緑色の花をたらして咲かす。キュウリのような樹皮が特徴。
7		雪の多い地方の、やや湿ったところに生える。
8		春先に枝を切ると、樹液（木から出る汁）がしたたるので、この名前が付いた。
9		若い芽は、山菜としてよく食べられる。枝にとげがある。
10		山の少し高い所に生えて大木になる。秋にはドングリができる。
11		葉に柄があることで、ミズナラと区別できる。昔は炭の材料にした。秋にはドングリができる。
12		アジサイに似た花がつくが、5メートル程度の木になる。
13		戦争中は、ゆでた若い芽をご飯にまぜて食べたと言われている。
14		白い花がつき、雌花と雄花に分かれている。
15		日本海側の山に多く見られる。
16		葉をもむと、良い香りがする。枝は高級な楊枝の材料となる。
17		大きなものは弓をつくる材料になることから、真弓という名前がついた。
18		葉のふちに、ギザギザがついているのが特徴。花を横から見ると、開き方が漢字の「丁」のように見える。
19		3～4月に花を咲かせる。この花粉で花粉症になる人もいる。
20		「イタヤカエデ」の仲間、新芽は、赤みをおびている。葉がよく茂り、板でふいた屋根のように雨がもらないことから名前がついた。